

「ワークサンプル幕張版（MWS）新規課題『文書校正 訓練版』の  
様式の誤りについて（お詫びとお願い）

「ワークサンプル幕張版（MWS）新規課題」の「文書校正」において、使用する様式に誤りがあったため、謹んでお詫び申し上げますとともに、下記によりご対応いただきますようお願い申し上げます。

記

1 課題の誤りがあった部分とお願い事項

「文書校正 訓練版 レベル 6-3 初稿」の、最終行から上に 2 行目文末で「なっている」と書かれている部分について、本来は 10 ポイントで書かれているべきところが、10 ポイントより大きいフォントで書かれています。作業の指示書（サブブック、報告書作成規定）に従えば、この部分は修正することが求められますが、「回答例」には修正箇所であるとの記載はありません。そのため、この部分は初稿（校正刷）の記載の誤りでした。

以上の誤りがあったことから、開発元である障害者職業総合センター研究部門では、文書校正の他の様式も含めて点検を行い、購入者の皆様に対しては後日修正した様式をお届けすることとしています。

修正した様式がお手元に届くまでの間、購入者の方におかれましては、以下の①②のようにお取り扱いくださいますようお願いいたします。

- ①回答例には記載のない部分なので採点対象にしない（加点しない）。
- ②過剰修正としてカウントしない。

2 その他に購入者の方から問い合わせがあった事項

文書校正については、上記 1 以外にも、問い合わせがあったので、以下にその内容と対応についてご案内いたします。

①問い合わせの内容

『簡易版-2』の 3 段目 3 行目の文字が、10 ポイントより大きくなっているように見える』

②対応

当該文字に文字ポイント表を当てると、文字ポイント表から文字がずれます。ただし、この部分については、文字ポイントは指示通りの 10 ポイントであり、文中に挿入

された記号（この箇所については次の行の「、」）との関係で文字と文字の間隔が広がっているため、文字ポイント表を当てても文字がずれます。このような箇所が校正刷の中には含まれており、同様の箇所を 10 ポイントに修正する校正を行った場合は、過剰修正とはしないことになっています。詳しくは「実施マニュアル」の以下のページでご確認ください。

「ワークサンプル幕張版 実施マニュアル ー文書校正 訓練版ー」P15